

令和7年度県民公開講座の開催について

～猫も犬も そして人も感染する SFTS とは？病気の特性とその対策～

重症熱性血小板減少症候群（以下 SFTS）は、SFTS ウイルスによるダニ媒介感染症で、近年国内で年間100例以上の患者が毎年発生しており、死亡率は約10～30%とされる公衆衛生上重要な感染症です。

また、SFTS ウイルスがネコやイヌなどの伴侶動物に感染し、ヒトに感染したと考えられる事例も報告されています。

令和7年5月には三重県で感染猫の治療中に感染したと考えられる獣医療者の死亡事例が発生し、本県においても2020年から現在までにマダニからヒトへ感染したと考えられる12例が確認されています。

このようなことから、県民や、猫の保護活動不妊手術のボランティアの皆さんへの注意喚起を目的に鳥取県と県獣医師会が共催し、SFTS 県民公開講座を開催することとしました。

本講座では、人の感染状況や、動物から人への感染事例、ペットの飼い主や猫の保護活動をする場合の注意事項などを解説します。

記

- 1 主催 (公社) 鳥取県獣医師会 電話 0857-53-4300
- 2 共催 鳥取県
- 3 日時 令和7年10月4日(土) 午後1時半～3時
- 4 場所 鳥取県中部総合事務所講堂
〒682-0802 鳥取県倉吉市東巖城町2
- 5 内容
演題：「猫も犬も そして人も感染する SFTS とは？病気の特性とその対策」
演者：鳥取県衛生環境研究所 衛生室感染症担当 主幹研究員 最首信和 先生
- 6 参加費 無料
- 7 申込み 不要